

Just Composed

～ 現代作曲家シリーズ～

2012 インタラクティブ サクソフォン

in

Yokohama

2012.12.9.SUN 18:00 開演 17:30 開場
横浜みなとみらいホール 小ホール
渋谷から電車で30分。“駅チカ”ホール

【全席指定】3,000円 Miraist Club (横浜みなとみらいホール友の会) 会員 2,700円 ※ 未就学児の入場はご遠慮ください。

チケット発売日：9/2(日) Miraist Club 先行発売 / 9/9(日) 一般発売

問合せ・
チケット発売

● 横浜みなとみらいホールチケットセンター 045-682-2000
電話予約10:00～18:00、窓口10:00～19:00 (休館日・保守点検日を除く毎日営業)
チケットセンター web <http://yaf.or.jp/mmh/index/php>

● チケットぴあ
0570-02-9999
<http://t.pia.jp>

主催：横浜みなとみらいホール (指定管理者：公益財団法人横浜市芸術文化振興財団) / 支援：文化庁「平成24年度 優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業」
協賛：野中貿易株式会社 / 後援：アンスティチュ・フランセ横浜

INSTITUT
FRANÇAIS
アンスティチュ・フランセ横浜
JAPON - YOKOHAMA



旬の音楽家と新しい音楽の出会いを演出する「Just Composed in Yokohama 現代作曲家シリーズ」。13回目となる今回は、「インタラクティブティ」をテーマに“映像と演奏”、“演奏者と聴衆”、“演奏者とコンピューター”など双方向性を取り入れた内容をお届けします。

出演者は、サクソ奏者・大石将紀を中心に、打楽器、映像、エレクトロニクスなど多様なジャンルで活躍しているメンバーが集結。

音楽—映像—コンピューターの“インタラクティブ”により、新たな芸術が生まれる。

選定委員：池辺晋一郎・白石美雪・大石将紀



大石将紀 (サクソフォン) Masanori Oishi

東京芸術大学卒業、同大学院修士課程修了。在学中に「清水靖晃&サクソフォネッツ」に参加。2001年に渡仏しパリ国立高等音楽院に入学。サクソフォン科、室内楽科、即興演奏科を全て最優秀の成績で卒業。その後同音楽院大学院過程室内楽科に進み2007年に修了。2002年から2004年まで文化庁派遣芸術家海外研修員として研鑽を積む。仏国内のコンクールで入賞、ヨーロッパでの演奏活動を経て2008年に日本に帰国。同年東京オペラシティ文化財団主催のリサイタルシリーズ「B→C100」に出演し、朝日新聞誌上で「とにかく、うまい」と高い評価を得た。その後トーキョーワンダーサイトのコンサートや東京オペラシティ文化財団コンサート、サントリー音楽財団サマーフェスティバルなどにソリストとして出演。また故ピアノ・パウシュのダンスフェスティバルNRW国際ダンスフェスティバル2008(ドイツ)の招待出演、Nissan Zero Emissionの「The Planet Zero」やTVCMレコーディングの参加、(財)地域創造登録アーティストとして全国の学校、公共ホールでコンサート、ワークショップを展開している他、NHK-BSクラシック倶楽部において「ガーデン・オ・ラブ大石将紀スタジオコンサート」が放映されるなど、幅広い活動が注目を集めている。東邦音楽大学、洗足学園音楽大学非常勤講師。www.m-oishi.com



渡辺 愛 (作曲) Ai Watanabe

3歳よりピアノ、12歳より作曲を始める。東京音楽大学作曲専攻卒業を経て、同大学院修士課程作曲専攻修了。卒業作品のオーケストラ曲が優秀作として選抜・初演される。2004年、MOTUS夏期アトリエへの参加をきっかけに、電子音楽音楽へ傾倒しはじめる。2006年、奨学金を得てACANTHES夏期アカデミーに参加、ファイナルコンサート出演。2008年渡仏、パリ国立地方音楽院にて電子音楽作曲を学ぶ傍らエクリチュールを専攻。古典・ロマン派書法で審査員全員一致をおさめ卒業。国際アコースティック音楽祭FUTURAからの招待やフランスのラジオ番組France Musiqueでの放送等で作品を紹介された。2003年 第一回学長賞受賞、2005・2006年 東京国際室内楽作曲コンクールファイナリスト、2006年 CCMC入選、2010年 Phonurgia Nova主催のピエール・シェフェール賞セミファイナリスト(イタリア)、2011年 TEM主催のJAPAN 2011受賞(イタリア)。これまでに作曲を西岡龍彦・尾高博忠・小鍛冶邦隆・榎場富美子・西村朝・D.デュフルの各氏に、短期的には細川俊夫、G.ベソ、B.ブラ、湯浅譲二の各氏にも師事している。また、ピアノを堀江真理子・中嶋香の各氏に、エクリチュールをR.クラマンジュ氏に、アコースティック演奏法をJ.ブラジェの各氏に師事。器楽作曲・アコースティック・即興など表現手段は多岐に渡り、ダンスやインスタレーション、映像や映像との協働作品も多数発表している。入江悠監督作品「JAPONICA VIRUS」音楽担当、移動式音楽喫茶「秋福香」やフレンチ・ノイズユニットBOLITZなどにも度々参加。現在、東京藝術大学大学院音楽文化学専攻・音楽音響創造博士後期課程に在籍。日本電子音楽協会会員。2012年度財団法人ロームミュージックファンデーション奨学生。



清水靖晃 (作曲/テナー・サクソフォン) Yasuaki Shimizu

作曲家、サクソフォン奏者。総合的な音楽制作者として様々な領域で活動を展開。1978年にアルバムデビュー。83年「サクソフォネッツ」名義のプロジェクトを開始。85年から91年、パリとロンドンに活動拠点を移し、3枚のアルバムを録音。数多くのコンサートも行う。90年代後半、<パッサ/サクソフォン/スペース>という清水独自のコンセプトの下、J.S.パッサ「無伴奏チェロ組曲」をテナーサクソフォンのために編曲し、演奏、録音するという世界初の試みに着手。97年発表の「パッサ・ボックス」でレコード大賞企画賞を受賞。この試みの一環として、地下採石場や美術館など特殊な意味を持つ空間に着目した録音やパフォーマンスも行っている。2006年、サクソフォネッツは4人のサクソフォン奏者を迎え入れ、清水作品の5音階作品を収めた『ペントニカ』(07)をリリース。2010年、サクソフォングインテットと4本のコントラバスのために編曲したパッサ「ゴルトベルク変奏曲」を初演し、高い評価を得た。自作品のみならず、音楽プロデューサーや編曲家としても更に活動範囲を広げ、作曲家：坂本龍一や細野晴臣、DJ：テイ・トウワ、フレンチポップシンガー：ピエール・バルー、そして演歌・歌謡歌手：北島三郎、美川憲一まで、実に多様な音楽の制作に関わる。また、映像に対する造詣も深く、映画やビデオ、さらにはインスタレーションやコンテンポラリーダンスなどの音楽制作も手がけ、他分野のクリエイターとのコラボレーション活動も積極的に展開している。近年では、NHK教育テレビ『マテマティカ2』(07~)や松本志監督『さや侍』(11)の音楽を作曲。2008年には二川文太郎監督の無声映画『雄呂血』(1925年制作)に中編成オーケストラの新たな音楽を作曲、フィルムコンサートとして明治神宮会館で演奏して話題となった。



カール・ストーン (ラップトップ・コンピューター) Carl Stone

カール・ストーンは現在のコンピュータミュージックの先駆者の一人であり、ヴィレッジヴォイス誌は『サンプリングの王者』『現在のアメリカで最も優れた作曲家の一人』と賞賛している。彼は1986年からライブパフォーマンスでコンピューターを使用している。ストーンはロサンゼルスで生まれ、現在はサンフランシスコと日本を拠点に活躍している。カリフォルニア芸術大学で、Morton Subotnick, James Tenneyに師事し、1972年から電子アコースティック音楽の作曲を始めたが、この分野は殆ど彼の独壇場である。その作品は、アメリカ・カナダ・ヨーロッパ・アジア・オーストラリア・南米・北東アフリカなどで演奏されており、演奏活動の他に作曲やコンサートツアーも行い、日本の中京大学情報科学科の教授でもある。日本のアーティストとコラボレーションは大友良英、高橋悠治、高橋アキ、田中悠美子、国際悠一郎、中村としまる、内橋和久、桜井真紀子、恩田晃、他



神田佳子 (打楽器) Yoshiko Kanda

横浜生まれ。東京芸術大学打楽器専攻卒業、及び同大学院修士課程修了。ドイツ：ダルムシュタット国際現代音楽夏期講習会に参加し、奨学生賞を2度受賞。ピクチャーエントテイメントよりCD『ソルト&ペッパー』をリリース。これまでに、国内主要オーケストラとの共演や、国内外の音楽祭への参加の他、一柳慧、松平頼暁、高橋悠治、近藤譲等をはじめとする多くの作曲家の作品を初演し、若手作曲家との共同作業も多く行ってきた。最近では、正倉院復元楽器の演奏、古楽器との共演、ジャズピアノとのデュオ「TANAKANDA」を行う等、時代やジャンルを超えた打楽器演奏の可能性にアプローチしている。また数多くの作曲を手掛ける。



有馬純寿 (エレクトロニクス) Sumihisa Arima

1965年生まれ。エレクトロニクスやコンピュータを用いた音響表現を中心に、現代音楽、即興演奏などジャンルを横断する活動を展開。ソリストや室内アンサンブルのメンバーとして、これまでに「サントリー芸術財団サマーフェスティバル」「コンポーザム」など国内外の現代音楽祭に参加し、ケージ、ライヒ、ブーレーズ、ノーノ、一柳慧、武満徹、湯浅譲二、望月京など多く作曲家の作品の音響技術や演奏を手がけ高い評価を得ている。東京シンフォニエッタのメンバーとして第10回佐治敬三賞を受賞。2012年に大石将紀、神田佳子、橋本晋哉らと新プロジェクト「東京現音計画」をスタートさせた。現在、帝塚山学院大学人間科学部准教授。



小阪 淳 (映像) Jun Kosaka

1994年-2000年SFマガジン(早川書房)装画担当。2004年沖縄市ワンダーミュージアムに作品常設。文化庁メディア芸術審査委員会推薦作品。2006年Sony Explora Science(北京)に4作品常設。文部科学省「一家に一枚宇宙図2007」制作に参加。2007年カンヌ国際広告祭2007Cyber Lions銅賞受賞。2010年東京書籍「宇宙に恋する10のレッスン」出版(共著)。2011年高岡市市場再開発プロポーザル。東京都写真美術館企画展「見えない世界のみつめ方」参加。2010年から朝日新聞にビジュアル連載中。

関連レクチャー「白石美雪のはじめて聴く現代音楽」

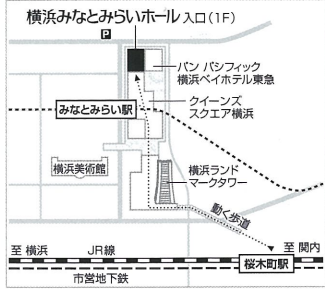
日時：2012年12月1日(土) ※電話にて事前申し込み(横浜みなとみらいホール：045-682-2020) 定員100名
18時00分~20時00分(17時45分開場) 料金：500円(自由席) ※本公演チケット持参のお客様は入場無料
会場：横浜みなとみらいホール 大ホール 出演：白石美雪(武蔵野美術大学教授、音楽学者)、大石将紀(サクソフォン)

※未就学のお子さまの同伴、入場はご遠慮ください。
※やむを得ぬ事情により、出演者や内容が変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。
※場内に花東などのお持込をご遠慮いただく場合がございます。

- 交通のご案内【電車】
- みなとみらい駅(東急東横線直通/みなとみらい線)下車、「クイーンズスクエア横浜連絡口」より徒歩3分
- 桜木町駅(JR京浜東北線・根岸線/横浜市営地下鉄)下車、動く歩道からランドマークプラザを経由でクイーンズスクエア横浜1階奥(徒歩12分)
- 横浜みなとみらいホール友の会 Miraist Clubのご案内
Miraist Club(みらいすとクラブ)メンバーはホール主催公演などのチケット割引、先行発売のサービスはもちろん、魅力的な特典を毎月お楽しみいただけます。ぜひ資料をご請求ください。
Miraist Club事務局 045-682-2025(10:00~18:00)
- 託児サービスのご案内
- 生後6ヶ月から学童までのお子さま
- 予約制/先着10名様 ・1公演(3時間程度)の保育につき、お一人様2,000円
なお、保育時間が3時間を超える公演については別途ご相談
- 公演の3ヶ月前から5日前まで予約受付

お問い合わせ・ご予約
アンティ <http://www.aunty-i.com>
045-423-2431
(月~金:9時~17時、土:9時~13時、日・祝:休)

横浜みなとみらいホール
[指定管理者：公益財団法人横浜市芸術文化振興財団]
〒220-0012 横浜西区みなとみらい2-3-6
Tel:045-682-2020
<http://www.yaf.or.jp/mmh/index.php>
twitter @yokohamammh



MADE IN 100% FRANCE
HENRI SELMER PARIS
SAXOPHONES
SUPER ACTION 80 SERIE II・SERIE III
総発売元 株式会社ノナカ
〒231-0011 横浜市中区太田町4-46 TEL.045-212-0332(代)
総輸入元 野中貿易株式会社
〒231-0011 横浜市中区太田町4-46 TEL.045-211-2022(代)
<http://www.nonaka.com> (野中貿易)
<http://www.nonaka.com/selmer> (セルマー専用サイト)